



在宅医療の緊急対応を強化するクラウドシステム

DATA

活用分野

迅速・セキュアな在宅医療提供

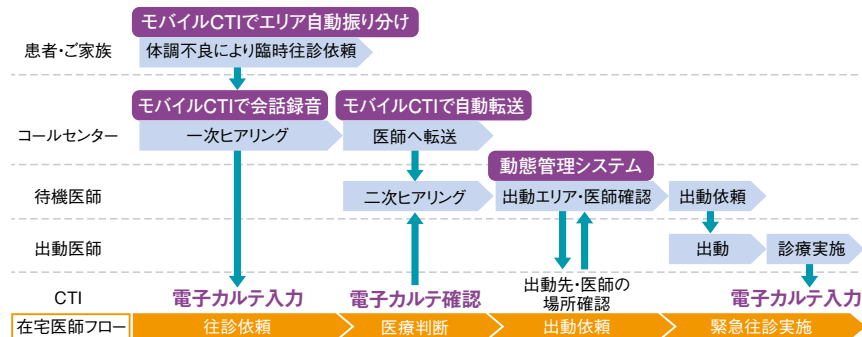
テクノロジー

モバイルCTI、位置情報、
タブレット・スマホ

在宅医療が注目されるなか、患者や家族は入院医療と比べ緊急時の対応に不安感を抱いているといわれる。医療法人社団平郁会では「モバイルCTI」「動態管理システム」「電子カルテ」の3つのICTシステムにより、緊急時の対応強化を図った。

モバイルCTIとして「uniConnect」を採用。マルチキャリア対応のBYODで固定電話番号を活かしたままスマートフォンでの受発電を可能とした。折り

図 在宅医療緊急コール対応クラウドシステム



返し電話をせずに転送で対応できるため患者の不安を軽減できた。通話内容は録音されトラブル防止策ともなる。

また、往診ができる医者を車両位置で把握する動態管理システムによって、近隣で対応できる医者が速やかに患者宅に向かえるようになった。

同時に電子カルテのクラウド化を行い、医師は患者のカルテ情報をいつでもセキュアに活用できる。

以上により、速やかに患者宅に向かって適切な医療を提供できる体制が構築でき、要請から往診実施までの時間を平均30分ほど短縮できた。